

2024年3月27日発表

報道関係者各位

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

JPRS が『JP ドメイン名レジストリレポート 2023』を公開
-JP ドメイン名の登録数は175万件超、指定事業者変更申請の認証コード必須化など-

株式会社日本レジストリサービス (以下 JPRS、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 東田幸樹) は、本日、JP ドメイン名の登録管理業務に関する 2023 年の年次報告書、『JP ドメイン名レジストリレポート 2023』を公開しました。

- ・ JP ドメイン名レジストリレポート 2023 (PDF)
https://jprs.co.jp/doc/report/registry-report-2023.pdf



本レポートは、インターネット社会の基盤を支える高い公益性と競争力が求められるドメイン名の登録管理業務について、JP ドメイン名のレジストリ (登録管理組織) である JPRS が、その活動内容を広く一般に公開することがインターネットの一層の健全な発展に資することになるとの考えに基づき、2004 年より毎年公開しているものです。

JP ドメイン名全体の登録数は、2024 年 1 月 1 日付で 1,756,107 件となり、2023 年 1 月 1 日時点と比較して 34,970 件の増加となりました。

JPRS は、JP ドメイン名登録管理業務を含むサービス全体のコンセプトとして掲げる四つの柱である「信頼性」「安定性」「利便性」「経済性」について、それぞれのバランスを適切に保ちながら、それらをより高度なものにすることに努めています。2023 年も、サービスの更なる改善はもちろん、国内外のイベントや会合への参加、ドメイン名や DNS に関する情報

発信などインターネットの安定運用のための活動を継続すると共に、以下を始めとする取り組みを行いました。

【2023 年の主な取り組み】

- ・ JP ドメイン名における登録者の意図しない指定事業者変更申請自体を発生しにくくする方策として、2022 年に導入した「認証コード (AuthCode)」をすべての指定事業者変更申請において必須化
- ・ インターネット全体の発展に貢献することを目的とした、WIDE プロジェクトと APNIC との協力関係に基づく M ルートサーバーの拠点拡大の推進
- ・ インターネットの仕組みについて学べる小冊子など、インターネット関連教育支援を目的とした教材・グッズの全国教育機関への無償配布、情報教育 Web サイトを活用した小学校・中学校での出前授業の実施
- ・ ドメイン名や DNS の理解促進及び興味喚起を目的とした、大学での講座及びハンズオンの実施
- ・ DNS ソフトウェアの脆弱性に対する注意喚起や啓発といった情報発信活動

JPRS は、今後もネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献するため、よりよいサービスの提供に努めてまいります。

■株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

<https://jprs.co.jp/>

ドメイン名の登録管理とドメインネームシステム (DNS) の運用を中心としたサービスを行う会社。2000 年 12 月 26 日設立。JPRS はネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■参考 URL

1. 『JP ドメイン名レジストリレポート 2023』公開のお知らせ
<https://jprs.jp/whatsnew/notice/2024/20240327-registry-report.html>
(2024 年 3 月 27 日公開)

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日本レジストリサービス（JPRS）広報宣伝室

TEL: 03-5215-8451 FAX: 03-5215-8452

E-mail: press@jprs.co.jp

<https://jprs.co.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館
